

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                |    |                |
|----------------|----------------|----|----------------|
| ○事業所名          | ハッピーテラス静岡西草深教室 |    |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 2月 20日   |    | ～ 2026年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)         | 43 | (回答者数) 19      |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 2月 20日   |    | ～ 2026年 3月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)         | 5  | (回答者数) 5       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 14日   |    |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|---|---|
| 1 | <b>利用児童の特性に応じた個別支援の実施</b><br>個別支援計画に基づき、利用児童の特性や発達段階に応じた支援を行っている。保護者アンケートでも子どもの特性理解や支援内容について高い評価が確認されており、個性を重視した支援が実施されている。  | <b>支援の専門性向上のための取り組み</b><br>支援プログラムの見直しや職員間の情報共有を行い、支援内容が固定化しないよう工夫している。また職員研修等を通じて支援の専門性向上に取り組んでいる。         | <b>支援プログラムの体系化</b><br>不登校支援などの支援内容を整理し、より効果的な支援が提供できるようプログラムの体系化を進めていく。 |
| 2 | <b>保護者との信頼関係と情報共有体制</b><br>日々の活動報告や面談等を通じて保護者との情報共有を行い、子どもの発達状況や課題について共通理解を図る取り組みを行っている。保護者アンケートにおいても情報共有に関する項目で高い評価が得られている。 | <b>利用者ニーズの把握と支援内容への反映</b><br>利用児童のニーズを把握するためアンケート等を実施し、その結果を支援内容や活動プログラムの改善に活かしている。                         | <b>保護者支援の充実</b><br>保護者会や家族支援の機会の実施を検討し、保護者同士の交流や情報共有の機会を充実させる。          |
| 3 | <b>安心して通所できる支援環境</b><br>利用児童が安心して過ごすことができる環境づくりを行っており、保護者アンケートでも「子どもが安心して通所している」との回答が多く見られ、安心して通える事業所として評価されている。             | <b>関係機関との連携による支援の充実</b><br>学校や相談支援事業所など関係機関と連携し、利用児童の状況に応じた支援が行えるよう情報共有を行っている。また地域の協議会等にも参加し、地域連携の強化を図っている。 | <b>地域交流機会の拡充</b><br>地域の児童クラブ等との交流の機会を検討し、地域社会との関わりを広げる取り組みを進める。         |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること  | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|---|---|
| 1 | <b>地域交流の機会が十分ではないこと</b><br>現在は主に事業所内での支援活動が中心となっており、地域の児童クラブや他施設の利用児童との交流機会が十分に設けられていない。社会性の向上や地域理解の観点からも、地域との関わりを持つ機会を増やしていくことが課題となっている。                 | <b>日常支援業務や事務業務の負担が大きいこと</b><br>日々の療育支援や個別支援計画の作成、記録業務などの事務作業が多く、交流イベントや保護者向けの取り組みなど新たな活動の企画・実施に十分な時間を確保することが難しい状況がある。   | <b>地域交流の機会の検討と実施</b><br>地域の児童クラブや関係機関との連携を図り、交流活動や合同イベントなどの機会を検討することで、利用児童が地域社会と関わる経験を得られるよう取り組む。 |
| 2 | <b>保護者同士が交流できる機会が少ないこと</b><br>保護者との個別の情報共有は行われているものの、保護者会や交流会など、保護者同士が情報交換や交流を行う機会は十分に設けられていない。保護者同士の交流の場があることで、子育てに関する情報共有や心理的な支援につながる可能性がある。            | <b>人員体制の制約による業務の集中</b><br>職員は日常の支援業務を優先して行う必要があり、地域交流や保護者支援などの取り組みを担当する役割分担が十分に確立されていない。そのため、交流活動などの企画が後回しになってしまう傾向がある。 | <b>保護者支援の充実</b><br>保護者会や交流会などの開催を検討し、保護者同士が情報交換や交流を行える機会を設ける。また、必要に応じて保護者向けの情報提供や相談の機会を設ける。       |
| 3 | <b>事業所の取り組みに関する情報発信が十分ではないこと</b><br>日々の支援内容や事業所の取り組みについて、連絡帳等を通じた個別の共有は行っているものの、HPやSNSなどを通じた広い情報発信は十分ではない。そのため、事業所の取り組みや支援内容について、保護者や地域へ十分に周知できていない部分がある。 | <b>情報発信に関する体制や仕組みが十分に整備されていないこと</b><br>事業所の活動内容を発信するための担当者や発信方法が明確に定まっておらず、HPやSNSなどを活用した情報発信が十分に行われていない。                | <b>情報発信の体制整備</b><br>事業所の取り組みや活動内容について、HPやSNSなどを活用した情報発信を検討し、保護者や地域に向けて支援内容をわかりやすく発信する。            |